

# 日東工業株式会社

## 2020年3月期 通期決算説明会（説明内容）

---

### 【概要】

日 時：2020年6月5日（金）15：00～16：00

形 式：電話会議

登壇者：日東工業株式会社 取締役社長 COO 黒野 透（以下、黒野）

執行役員 生産本部長 飯田 英人

執行役員 経営管理本部長 手嶋 晶隆

総務部 担当部長 真野 貴明

---

# プレゼンテーション

私は取締役社長 COO の黒野透でございます。本日は大変お忙しい中、日東工業株式会社の 2020 年 3 月期通期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃よりご指導ご鞭撻を賜り、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

まず、説明に入らせていただく前に、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、罹患された皆様の早期回復と、感染症の早期収束を心よりお祈り申し上げます。

## 目次

2020年3月期  
通期

### 1 2020年3月期 通期決算概要

### 2 新型コロナウイルス感染症の影響

### 3 通期連結業績予想

### 4 中期経営計画

### 5 参考資料

さて、本日の目次となります。1 から 4 の項目についてご説明させていただきます。5 に関しましては参考資料となりますので、後ほどご覧ください。

# 通期 連結決算ハイライト

2020年3月期  
通期

- 通期業績は増収増益。連結売上高、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高
- 配電盤関連製造事業と情報通信関連流通事業が業績を牽引
- 2018年10月に実施した価格改定や、2019年1月に子会社化した北川工業グループが業績に寄与

(単位：百万円)

決算期	2019/3	2020/3			
	実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	116,984	135,000	139,421	+19.2%	+3.3%
営業利益	6,472	11,300	12,402	+91.6%	+9.8%
経常利益	6,405	10,900	12,038	+87.9%	+10.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,046	7,100	8,048	+98.9%	+13.4%

2020年3月期、通期連結決算ハイライトです。

売上高は1,394億円で、前期比プラス19.2%。そして、全ての利益項目については前期比プラス90%前後となり、増収増益となりました。連結売上高および親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を記録しました。

配電盤関連製造事業と情報通信関連流通事業の業績が好調であったこと、また、2018年10月に実施しました価格改定、そして2019年1月に子会社化しました北川工業グループの業績が寄与した結果でございます。

詳細は後ほどご説明いたします。

## 電気と情報に関わる4つの事業を展開

### 工事・サービス事業

- 情報通信ネットワーク、電気設備の設置、保守等の工事業

### 電子部品関連事業

- 電磁波環境コンポーネント、精密エンジニアリングコンポーネントの製造、販売

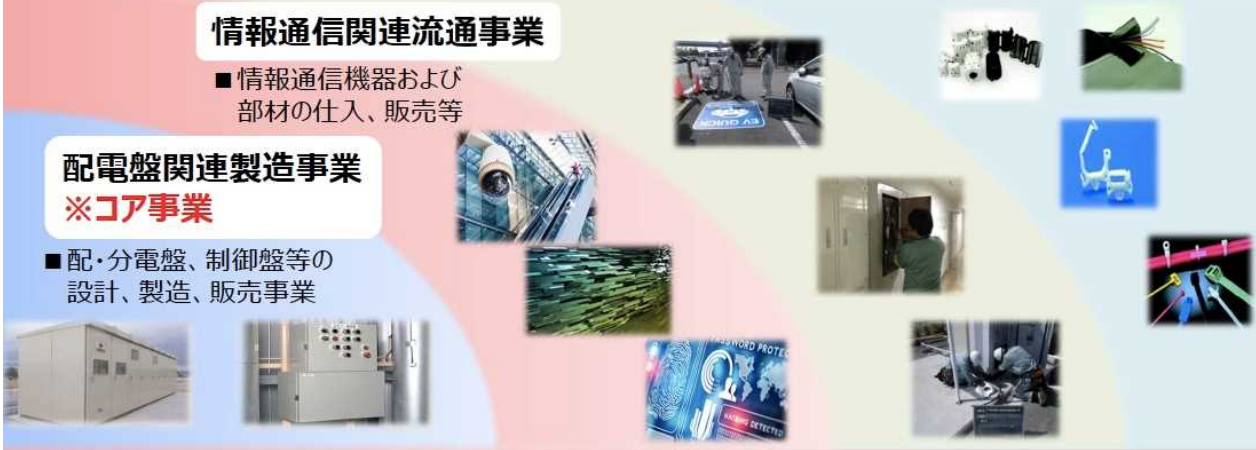
### 情報通信関連流通事業

- 情報通信機器および部材の仕入、販売等

### 配電盤関連製造事業

#### ※コア事業

- 配・分電盤、制御盤等の設計、製造、販売事業



**NTO** 日東工業株式会社

5

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

今回、初めて説明会にご参加の方もいらっしゃいますので、日東工業グループの事業セグメントを簡単にご紹介いたします。

まず、左下からですが、配電盤関連製造事業です。配・分電盤、制御盤等の設計、製造、販売を行うとともに、配電盤で使いますキャビネット、遮断器、それらの部材の製造、販売をする日東工業グループのコア事業となります。

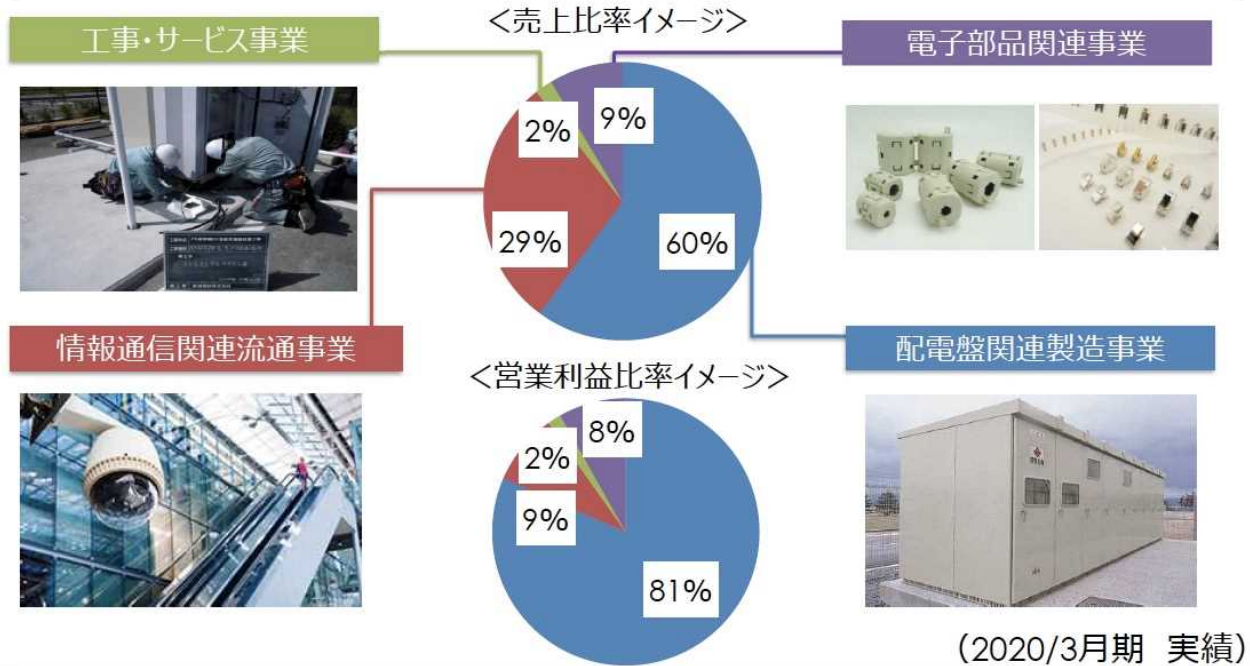
上に行きまして、情報通信関連流通事業は、LAN ケーブルや監視カメラなどの情報通信関連機器とその部材を仕入、販売する事業です。

工事・サービス事業は、情報通信ネットワークや電気設備の設置、保守などの工事を行う事業です。

電子部品関連事業は、電磁波対策の機器や精密部品の製造、販売を行う専門性の高い事業となっています。

日東工業グループは、電気と情報に関わる4つの事業が互いに連携し合い、事業を展開しています。

## 配電盤関連製造事業が売上の約6割、利益の約8割を占める



4つの事業セグメントの売上および利益構成です。

コア事業である配電盤関連製造事業は、日東工業と約20社の連結子会社にて行っている事業で、連結売上の約60%、連結営業利益の81%を占めています。

また、情報通信関連流通事業は、サンテレホンが行っている事業で、連結売上の29%、連結営業利益の9%と商社のため利益率は低いです。今後期待できるセグメントです。

工事・サービス事業は南海電設が行っている事業で、連結売上、連結営業利益ともに2%を占めています。

また、電子部品関連事業は、北川工業が行っている事業で、連結売上の9%、連結営業利益の8%を占めています。

# 通期 セグメント別 決算ハイライト

2020年3月期  
通期

- 配電盤関連製造事業は、国内建設需要等、堅調であった内需の当業界への波及効果のほか、学校空調に関連した高圧受電設備等の売上増加や価格改定効果などにより増収増益。海外子会社の赤字縮小も増益に寄与
- 情報通信関連流通事業は大型オフィス移転やデータセンター市場における案件獲得のほか、第4四半期後半にはテレワーク関連商材の売上増加などもあり増収増益
- 工事・サービス事業は、高圧受電設備等に関連した工事の売上増加などにより増収。一方、人件費や経費等の増加により減益
- 電子部品関連事業は、輸出用の半導体製造装置や工作機械に関連した製品の売上が弱い動きをみせたが、国内外の業務用エアコンに関連した製品や国内自動車関連市場の売上が堅調に推移

	セグメント別	2019/3		2020/3		
		実績	計画	実績	前期比増減率	計画比増減率
売上高	配電盤関連製造事業	78,569	84,200	83,866	+6.7%	△0.4%
	情報通信関連流通事業	32,910	36,000	40,774	+23.9%	+13.3%
	工事・サービス事業	2,719	2,800	2,827	+4.0%	+1.0%
	電子部品関連事業	※ 2,785	12,000	11,954	—	△0.4%
	合計	116,984	135,000	139,421	+19.2%	+3.3%
営業利益	配電盤関連製造事業	5,543	—	10,113	+82.4%	—
	情報通信関連流通事業	932	—	1,070	+14.8%	—
	工事・サービス事業	218	—	204	△6.4%	—
	電子部品関連事業	※ △235	—	1,011	—	—
	合計	6,472	—	12,402	+91.6%	—

※2019年1月に新設したセグメント

**NTO** 日東工業株式会社

7

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

セグメント別決算ハイライトです。

数字に関しては、既にご覧いただいていることとしますので、トピックスのみをご説明いたします。

配電盤関連製造事業は、国内建設需要が大変好調であったことに加え、熱中症対策のための学校空調整備に伴う高圧受電設備や分電盤の売上増加、価格改定、海外子会社の赤字縮小などにより増収増益となりました。

情報通信関連流通事業は、大型オフィスの移転、データセンター案件の獲得、第4四半期後半にはテレワーク関連商材の売上が増え、増収増益となりました。

工事・サービス事業は、高圧受電設備に関連した工事の売上増加により増収となりましたけれども、人件費や経費などが増えた結果、減益となりました。

電子部品関連事業は、2019年1月に子会社化した北川工業が行う事業で、輸出用の半導体製造装置や工作機械に関連した製品の売上は弱い動きでしたが、国内外の業務用エアコンや国内自動車関連市場の売上が増えた結果、表に示す値となりました。

# 通期 配電盤関連製造事業（部門別売上高）

2020年3月期  
通期

- 国内建設需要等、堅調であった内需の当業界への波及効果により既存市場の売上が増加したほか、学校空調に関連した高圧受電設備等の売上増加、2018年10月に実施した価格改定効果などにより増収
- 遮断器・開閉器部門は、新愛知電機製作所の機器事業の売上が減少したことなどにより減収

部門別 売上高		2019/3		2020/3		
		実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
配電盤関連 製造事業	配電盤	43,332	46,900	47,472	+9.6%	+1.2%
	キャビネット	23,561	25,600	24,585	+4.3%	△4.0%
	遮断器・開閉器	5,304	5,100	5,188	△2.2%	+1.7%
	パーツ・その他	6,370	6,600	6,619	+3.9%	+0.3%
合計		78,569 (3,585)	84,200	83,866 (5,856)	+6.7% (+63.3%)	△0.4%
連結全体合計		116,984	135,000	139,421	+19.2%	+3.3%
連結売上構成比		67.2%	62.3%	60.2%	△7.0%	△2.1%

※（）内はセグメント間の内部売上高

**NTO 日東工業株式会社**

8

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

配電盤関連製造事業の部門別売上高です。当社グループのコア事業ですので、学校空調案件以外のトピックスとして2点ご説明いたします。

遮断器・開閉器の売上が前年比でマイナスとなっていますが、要因は子会社である新愛知電機製作所の機器事業の売上が減少したためです。

また、主力製品であるキャビネットの売上が計画比でマイナス4%となっていますけれども、こちらは、子会社であるサンテレホンへの内部売上が当初の計画以上であったことが大きな要因となっています。

表の中の合計欄をご覧ください。括弧内の数字が内部売上高となります。前期は35億円強に対して、2020年3月期では58億円強と、大きく伸長していることがお分かりいただけるかと思います。増加した金額のうち、半分以上がキャビネットであり、その内部売上高は情報通信関連流通事業に計上されています。

この表には掲載していませんが、日東工業単体におけるキャビネットの販売金額目標は達成しています。

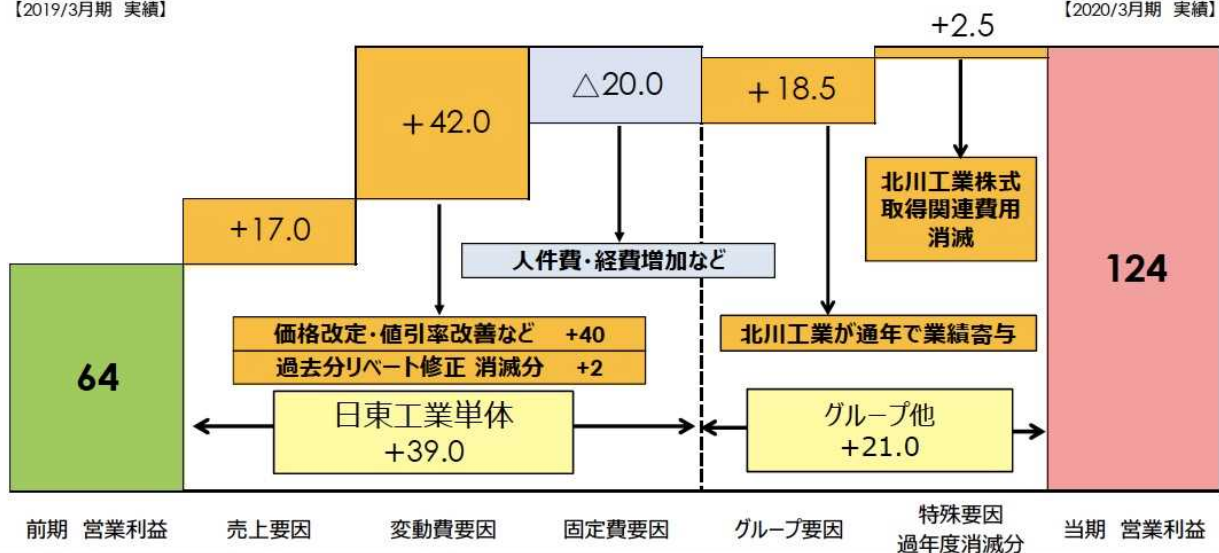
# 通期 連結営業利益の増減要因

2020年3月期  
通期

- 日東工業単体要因では、人件費等の増加により固定費は悪化するも、売上増加による限界利益の増加や、価格改定および値引率の改善（変動費要因）などにより大幅な増益となる
- グループ要因では、2019年1月に子会社化した北川工業グループの業績寄与や海外子会社の赤字縮小などが利益を押し上げる結果となる

【2019/3月期 実績】

(単位：億円)  
【2020/3月期 実績】



**NTO** 日東工業株式会社

9

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

連結営業利益の増減要因です。グラフの中央の点線より左側は日東工業単体の要因で、右側が日東工業を除くグループの成績となります。

営業利益は、前期 64 億円に対して今期 124 億円となり、60 億円ほど増加いたしました。

日東工業単体としてプラス 39 億円。その内訳ですが、売上増加による限界利益の増加でプラス 17 億円、価格改定や値引率改善によりプラス 42 億円、残業を含む人件費や経費の増加によりマイナス 20 億円となりました。

グループ要因としては、プラス 21 億円で、2019 年 1 月に子会社化した北川工業グループが、1 年を通して業績に寄与したこと。また、海外子会社の赤字縮小などにより、利益を押し上げました。



# 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

2020年3月期  
通期

(単位：百万円)

2019/3 通期	
現金及び現金同等物の期首残高	28,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,048
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△135
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—
現金及び現金同等物の期末残高	38,934

<2019/3 通期 主な要因>

- 投資活動によるCF
  - ・生産設備等の有形固定資産取得  $\Delta 2,204$
  - ・定期預金の払い戻しによる収入 2,651
  - ・北川工業株式取得による支出  $\Delta 12,632$
- 財務活動によるCF
  - ・短期借入金の増加 17,724
  - ⇒北川工業株式取得にかかる資金調達のため

2020/3 通期	
現金及び現金同等物の期首残高	38,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,649
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,925
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△54
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	96
現金及び現金同等物の期末残高	29,620

<2020/3 通期 主な要因>

- 投資活動によるCF
  - ・新工場用地等の有形固定資産取得  $\Delta 5,937$
  - ・定期預金の払い戻しによる収入 8,619
  - ・投資有価証券の売却及び償還 3,891
  - ・ベトナム子会社株式取得による支出  $\Delta 815$
- 財務活動によるCF
  - ・北川工業完全子会社化のための支出  $\Delta 10,582$
  - ・短期借入金の減少  $\Delta 14,634$

**NITO** 日東工業株式会社

10

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

連結キャッシュ・フロー計算書です。左側が2019年3月期で、右側が2020年3月期。ともに北川工業の子会社化により投資および財務活動のキャッシュ・フローが増減しています。

2020年3月期の営業活動によるキャッシュ・フローの増加は主に売上増加によるものです。

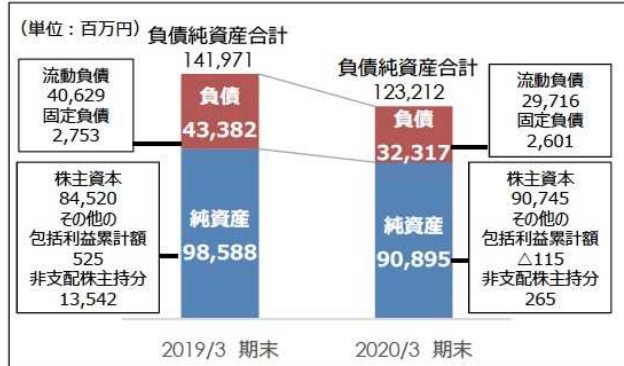
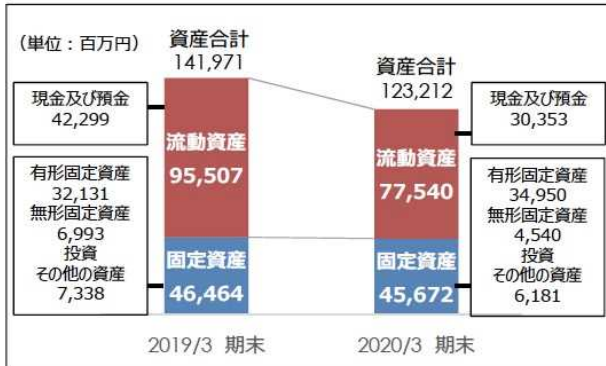
投資活動によるキャッシュ・フローは、新工場用地などの有形固定資産の取得で、約59億円のキャッシュアウト。定期預金の払い戻しによる収入などで、約86億円のキャッシュイン。投資有価証券の売却および償還で、約38億円のキャッシュイン。ベトナム子会社の株式取得などで、約8億円のキャッシュアウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、北川工業完全子会社化のため、約105億円をキャッシュアウトしました。北川工業の株式取得のために調達した短期借入金返済など、約146億円のキャッシュアウト。以上により、現金および現金同等物の期末残高は約93億円減少し、296億円となりました。

# 通期 連結財政状態の概要

2020年3月期  
通期

- 北川工業完全子会社化に伴う株式追加取得や短期借入金の返済、同子会社化に係る一連の手続き完了により、のれんが減少したことなどから、総資産が減少している



## <主な増減内容>

### ■ 資産

- 現金及び預金の減少  $\Delta$ 11,946
- 有価証券の減少  $\Delta$ 8,999
- のれんの減少  $\Delta$ 2,984

### ■ 負債

- 短期借入金の減少  $\Delta$ 14,416

### ■ 純資産

- 当期純利益 +8,048
- 非支配株主持分の減少  $\Delta$ 13,276

連結財政状態の概要です。北川工業の完全子会社化に伴い、株式の追加取得や短期借入金の返済をしたほか、一連の手続きが終わったことによるのれんの減少などから、総資産が減少しています。

# 新型コロナウイルス感染症の影響

2020年3月期  
通期

【2020年3月期】

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）による業績への大きな影響なし

【現在（2020年5月末）の当社グループにおけるコロナ影響及び感染拡大防止の取り組み状況】

## 1. 主要な生産拠点の稼働状況

- ・ 国内生産拠点：通常通り稼働
- ・ 海外生産拠点：一部操業を停止していた工場もあったが、現在は概ね通常通り稼働

## 2. 主要な製商品の生産・供給の状況

- ・ 甚大な影響はないが、海外生産品目については一部国内代替生産・調達が可能な体制づくりや在庫の積み増しなどを行っている

## 3. 感染拡大防止と事業継続の体制維持の観点から、顧客や従業員等の健康・安全確保のために実施している取り組み

- ・ 一部在宅勤務によるテレワークや時差出勤を実施中
- ・ 役職員の入社前の検温を徹底し、発熱がある場合は自宅待機としている

**NITO** 日東工業株式会社

13

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響についてご説明いたします。

2020年3月期業績において、新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、あまり大きくありませんでした。

感染拡大防止に対する当社グループの取り組みをご紹介します。

国内の主要生産拠点は、ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用、消毒の徹底、通勤手段の改善など、作業者の安全対策を徹底した上、通常どおり稼働しております。海外生産拠点におきましては、一部工場を停止しましたが、現時点ではほぼ通常どおり稼働しています。

主要な製品の供給状況に関しては、混乱もなく現在のところ問題ありませんが、生産や調達品の一部を海外から国内へ変更したり、在庫を積み増したり、新型コロナウイルス感染症対策が長期化しても安定した製品供給ができるような体制づくりと対策を講じています。

生産以外でも、お客様や従業員の健康・安全確保のため、一部在宅勤務によるテレワークや、訪問自粛、体温測定などを行い、感染症対策を実施しています。

# 新型コロナウイルス感染症の影響

2020年3月期  
通期

【2021年3月期】

＜想定＞ 当第2四半期以降、経済活動の停滞が緩やかに回復

部門	業績への影響が懸念される事項	影響度
配電盤関連製造事業 工事・サービス事業	＜マイナス要因＞ 民間非居住建築物棟数の減少や民間設備投資の腰折れ、ゼネコンの建設工事遅延など。ただし、過去のトレンドから、 <b>需要減の当業界への波及は半年前後遅れてくる</b> と想定している。	大
情報通信関連 流通事業	＜マイナス要因＞ オリンピック・パラリンピックの延期やオフィス関連市場の停滞など ＜プラス要因＞ テレワーク需要の高まり	小
電子部品関連事業	＜マイナス要因＞ 自動車関連、工作機械、OA機器市場の停滞など	中

【コロナ収束後に向けて】

テレワークの定着や通信量の増大、GIGAスクール構想の加速など、情報通信市場が活況となると考えている。今後、社会に求められる情報通信機器及び関連する製商品を速やかに提案できるよう、グループ全体で取り組んでいく。

**NTO** 日東工業株式会社

14

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

2021年3月期の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響等、2021年3月期の第2四半期以降、経済活動の停滞が緩やかに回復することを前提に想定しました。

配電盤関連製造事業と工事・サービス事業では、民間非居住建築物棟数の減少、民間設備投資の腰折れ、ゼネコンの建設工事遅延などが懸念されます。ただし、過去のトレンドから、需要減の当業界への波及は半年前後遅れてくるものと想定しています。

情報通信関連流通事業では、オリンピック・パラリンピックの延期や、オフィス関連市場の停滞でマイナス要因はありますが、テレワークなどの需要拡大により、関連商材は増えると想定しています。

電子部品関連事業は、自動車、工作機械、OA機器など、市場の停滞により減少が懸念されます。

マイナス影響がある一方、情報通信市場が活況となると考えており、市場ニーズの高い製品をご提案できるよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。

## 通期 連結業績予想

2020年3月期  
通期

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の停滞が、第2四半期以降緩やかに回復するという前提で試算
- ・ 通期連結業績は減収減益を計画
- ・ 前期の特需案件であった学校空調に関連した製品の売上剥落もマイナス要因

決算期	2020/3		2021/3 (単位：百万円)			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	前期比増減率	通期計画	前期比増減率
売上高	64,887	139,421	59,700	△8.0%	129,000	△7.5%
営業利益	5,072	12,402	2,600	△48.7%	7,700	△37.9%
経常利益	4,852	12,038	2,500	△48.5%	7,500	△37.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,124	8,048	1,300	△58.4%	4,700	△41.6%

**NITO** 日東工業株式会社

16

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

ここからは通期連結業績予想となります。

繰り返しとなりますが、2021年3月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響が2021年3月期の第2四半期以降、緩やかに回復することを前提に想定しています。

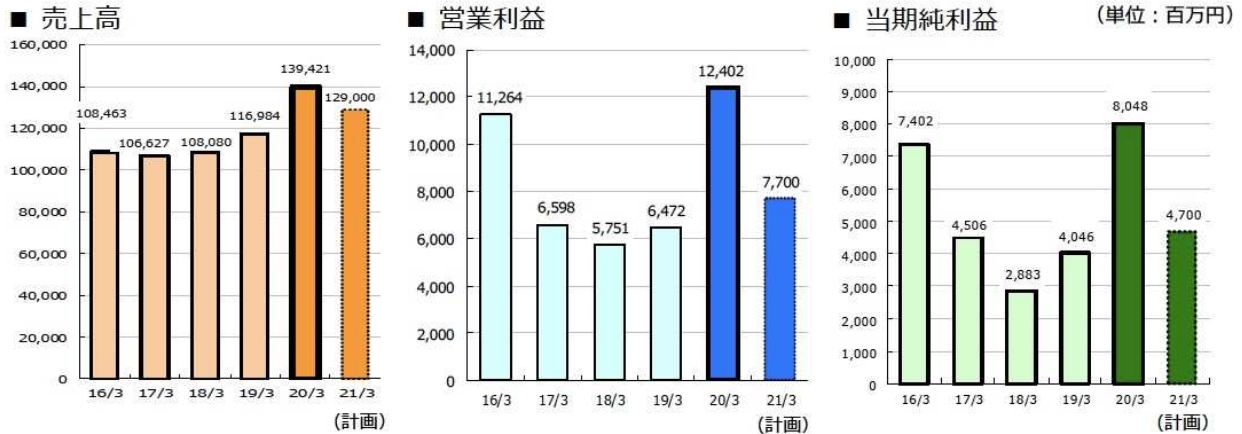
連結売上高は1,290億円で、前期比マイナス7.5%。新型コロナウイルス感染症の他、前期特需でありました学校空調案件の剥落も減少の要因となっています。

利益項目は、それぞれ前期比マイナス40%前後を予想しています。前期の増収増益の要因であった価格改定は既に一巡しているため、今期はプラス要因にはなりません。

# 過去5年 連結経営成績

2020年3月期  
通期

- 2020年3月期は3期連続の増収、2期連続の増益（売上高、当期純利益は過去最高）
- 2021年3月期は新型コロナウイルスの影響から減収減益を見込む



	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3 (計画)
売上高	108,463	106,627	108,080	116,984	139,421	129,000
営業利益	11,264	6,598	5,751	6,472	12,402	7,700
当期純利益	7,402	4,506	2,883	4,046	8,048	4,700

過去5年間の連結業績です。2020年3月期の売上高、当期純利益は過去最高で、3期連続の増収、2期連続の増益となりました。

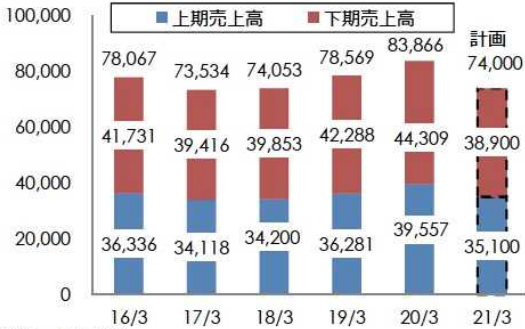
2021年3月期は、減収減益を想定していますが、2019年3月期と比べてみますと、売上、利益ともに上回る見込みで、計画を達成すれば売上高は過去2番目、利益項目は8番目となります。

# 業績予想 セグメント別（配電盤関連製造事業）

2020年3月期  
通期

## ◆配電盤関連製造事業 【通期予想】売上高 74,000百万円（前期比 △11.8%）

(単位：百万円)



### 【通期予想】

・新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の停滞や学校空調関連の特需剥落により減収を見込む

### 【取り組み】

・GIGAスクール構想や5G関連市場での製品提案活動  
・Gathergates社の収益性を重視した営業活動や生産コスト削減、NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTDの工場建設

### 【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	日東工業(株)	☔	☁	大
	(株)新愛知電機製作所	☔	☔	小
	(株)大洋電機製作所	☔	☔	小
	(株)E C A Dソリューションズ	☔	☁	小
海外	日東工業(中国)有限公司	☔	☔	小
	Gathergates Group Pte Ltd	☔	☔	小
	NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD	☔	☔	小

(単位：百万円)



**NITTO 日東工業株式会社**

18

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

セグメント別の業績予想となります。

まず、配電盤関連製造事業の業績予想ですが、売上高は740億円、前期比マイナス11.8%となります。新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が停滞することや、学校空調案件の剥落により減収を見込んでいます。

具体的な取り組みとしては、GIGAスクール構想や5G関連市場に対する製品提案活動、Gathergates社の収益性を重視した営業活動ならびに生産コスト削減、NITTO KOGYO BM (THAILAND) の工場建設など、効率的に行い、目標達成を目指します。

# 業績予想 セグメント別 (情報通信関連流通事業)

2020年3月期  
通期

## ◆情報通信関連流通事業 【通期予想】売上高 41,600百万円 (前期比 +2.0%)

(単位：百万円)



### 【通期予想】

- ・オリンピック・パラリンピック延期による売上減少
- ・テレワーク需要の高まりにより、関連商材の売上増加
- ・子会社化したSAO NAM AN TRADING CORPORATION (以下、SOECO) が売上増加に寄与し、増収を見込む

### 【取り組み】

- ・GIGAスクール構想に関連する案件獲得活動
- ・5G関連市場での案件獲得活動

(単位：百万円)



### 【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	サンテレホン(株)			中
海外	SOECO	—	—	小

※本セグメントは、サンテレホン(株)及びその子会社のみ  
 ※2020年3月期に、サンテレホン(株)がSOECOを子会社化  
 (PL連結は2021年3月期より)

**NTO 日東工業株式会社**

19

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

情報通信関連流通事業の業績予想は、売上高 416 億円、前期比プラス 2%となります。オリンピック・パラリンピックの開催延期などによる売上減少はありますが、テレワーク関連商材、GIGA スクール案件、5G 案件などに加え、ベトナム子会社の売上を合わせることで増収を見込んでいます。

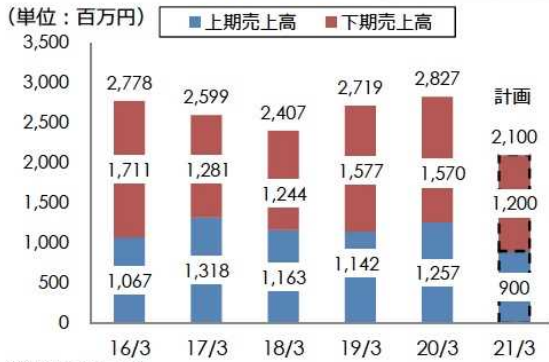
具体的な取り組みとしては、GIGA スクール案件と、5G 関連案件などの獲得活動に注力し、目標達成を目指していきます。



# 業績予想 セグメント別（工事・サービス事業）

2020年3月期  
通期

## ◆工事・サービス事業 【通期予想】売上高 2,100百万円（前期比 △25.7%）

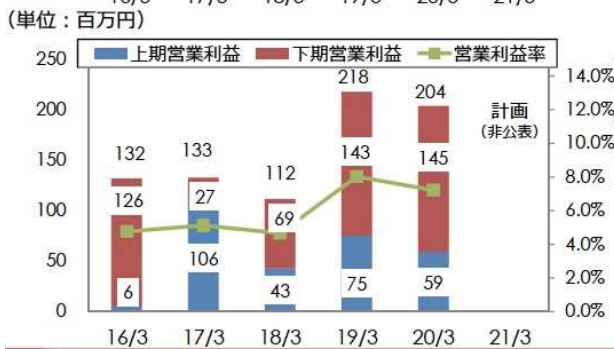


### 【通期予想】

- ・コロナ対策のためのレイアウト変更等、オフィス関連需要は伸長
- ・オリンピック・パラリンピック延期や工事遅延等により減収を見込む

### 【取り組み】

- ・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力
- ・GIGAスクール構想に向けた取り組みや防災関連機器の保守・メンテナンス事業の推進、拡大



### 【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業 利益	グループ利益 影響度
国内	南海電設(株)	☔	☔	小

※本セグメントは南海電設(株)のみ

工事・サービス事業の業績予想は、売上高 21 億円で、前期比マイナス 25.7%となります。新型コロナウイルス感染症の予防を目的としたレイアウトの変更でオフィス関連需要は増加しますが、既設工事の遅れなどにより減収を見込んでいます。

具体的な取り組みとして、日東工業との連携を強化し、工事案件を取り込むこと。また、GIGA スクール構想や、防災関連機器の保守・メンテナンス事業の推進、拡大などに注力し、目標達成を目指してまいります。

# 業績予想 セグメント別（電子部品関連事業）

2020年3月期  
通期

## ◆電子部品関連事業 【通期予想】売上高 11,300百万円（前期比 △5.5%）

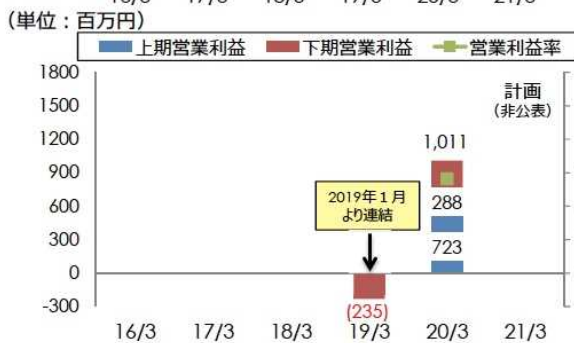


### 【通期予想】

・海外市場向けの製品や好調であった業務用エアコンに関連した製品の売上減少などにより減収を見込む

### 【取り組み】

- ・EV・HV・PHEV等の環境自動車市場への電磁波対策部品を軸としたソリューション製品提案
- ・5G関連市場での事業拡大（通信基地局、WIFI製品）



### 【主要グループ会社：通期見通し】

	会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益影響度
国内	北川工業(株)			中

※本セグメントは北川工業(株)およびその子会社のみ

電子部品関連事業の業績予想は、売上高 113 億円、前期比マイナス 5.5%となります。好調であった海外市場向け製品および業務用エアコン関連製品の売上減少が主な要因となっています。

具体的な取り組みとして、EV・PHEV などの環境自動車市場、医療機器市場の電磁波対策部品を中心に、ソリューション提案を行います。また、5G 関連事業が拡大し、通信基地局、Wi-Fi 製品に使われる機器の拡販などにより目標達成を目指してまいります。

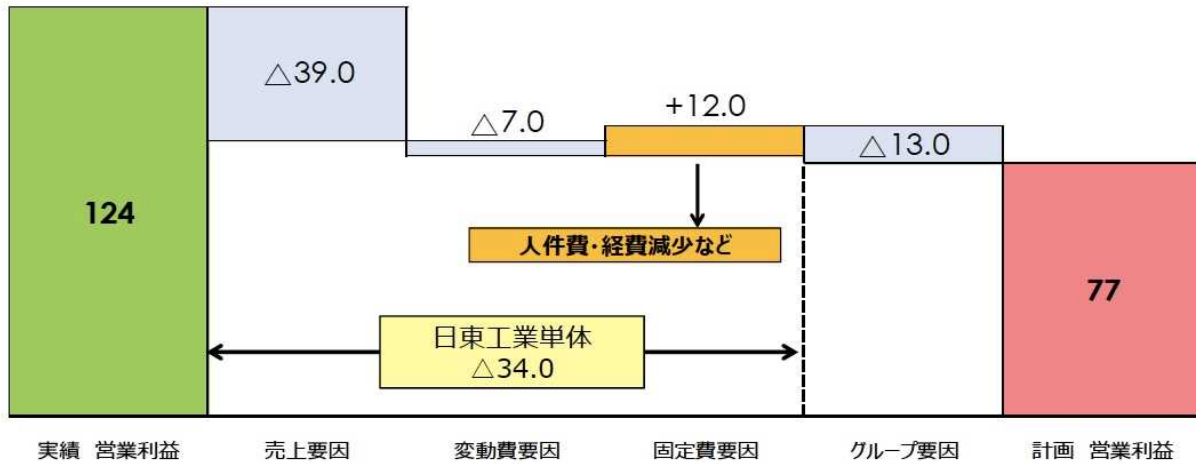
# 通期連結営業利益の増減要因 (今期予想 前期比)

2020年3月期  
通期

- 2021年3月期の連結営業利益は前期比37.9%減少の77億円を見込む
- 全体では、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少が利益の押し下げ要因となる
- 日東工業単体では、残業時間の削減や展示会などへの出展自粛による固定費の減少が利益の押し上げ要因となる

【2020/3月期 実績】

(単位：億円)  
【2021/3月期 計画】



通期連結営業利益の増減要因です。2021年3月期の連結営業利益は、前期比マイナス37.9%の77億円を見込んでいます。グラフの点線の左側は日東工業単体、右側が日東工業を除くグループの予想となります。

日東工業単体ではマイナス34億円。その内訳ですが、売上要因としては新型コロナウイルス感染症の影響や学校空調案件が剥落し、マイナス39億円。変動費要因としては、需要の減少で値引率が悪化し、マイナス7億円を想定しています。固定費要因としては、生産量が減少し、人件費や経費の自然減によりプラス12億円を予想しています。

グループ全体としても、新型コロナウイルス感染症の影響による売上の減少でマイナス13億円を想定しています。

# 通期連結営業利益の増減要因傾向

2020年3月期  
通期

## <日東工業単体>

- ・売上要因 売上増加が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年3月期は売上減少に転じる見通し
- ・変動費要因 値引率 … 2021年3月期は悪化する見通し
- ・固定費 経費 … 展示会・内覧会の参加自粛などにより一時的に減少する見通し  
人件費 … 売上減少に伴う残業時間の削減などにより一時的に減少する見通し

## <グループ要因>

- ・グループ会社は厳しい状況が続いていたが、北川工業の業績寄与により2020年3月期は好転しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から2021年3月期は総じて売上減少による減益の見通し

(単位：億円)

↑: 押上げ要因 ↓: 押下げ要因		2019/3 実績	2020/3 実績	2021/3 計画	
営業利益		64	124	77	
前期比増減額		+7	+60	△47	
増減要因	日東工業単体	売上要因	↑	↑	↓
		変動費要因	↑	↑	↓
		固定費要因	↓	↓	↑
	グループ要因	↓	↑	↓	

通期連結営業利益の増減要因の傾向です。表の2021年3月期、計画の矢印が示すとおりですが、日東工業およびグループ全体の売上減少、変動費の悪化を想定しています。

# 新エネルギー関連市場の売上動向 (日東工業単体参考)

2020年3月期  
通期

- 2020年3月期実績は前期比102.4%の55億円で着地
- 改正FIT法の影響による駆け込み需要の影響や太陽光発電システムと蓄電池を連動するためのシステムに対応した住宅用分電盤の売上増加により増収
- 2021年3月期は、駆け込み需要の剥落などにより、前期比75%程度の41億円を見込む

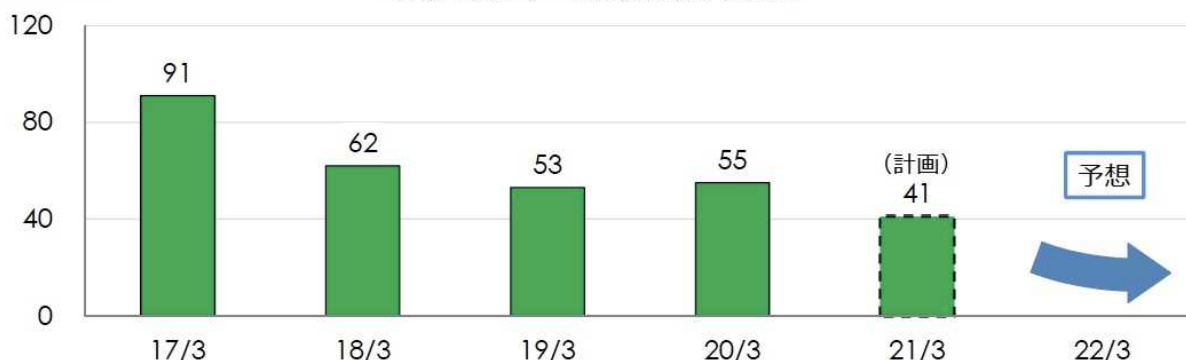
「新エネルギー関連市場」とは

- ①太陽光発電関連（接続箱、集電箱など）
- ②自動車関連（充電スタンド）
- ③その他：エネルギーマネジメントシステム関連など

※売上金額は日東工業単体の売上となり、グループの売上を含めておりません。また、グループ間相殺したものではありません。

(単位：億円)

## <新エネルギー市場関連 売上>



**NTO** 日東工業株式会社

24

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

このスライドですが、過去、日東工業単体の業績に大きく影響を及ぼした新エネルギー関連市場の売上動向です。

新エネルギー関連市場は、太陽光発電、EV・PHEV用充電スタンド、エネルギーマネジメントシステムに関連する製品を指しています。

2015年3月期をピークに、太陽光発電関連製品の売上は減少し続けておりましたが、2020年3月期の売上は前期比プラス2.4%の55億円と、やや増加いたしました。その要因は、改正FIT法に伴う駆け込み需要によるもの、および家庭内に蓄電池を採用するケースが増えて、それに対応した住宅用分電盤の売上が増えたためでございます。

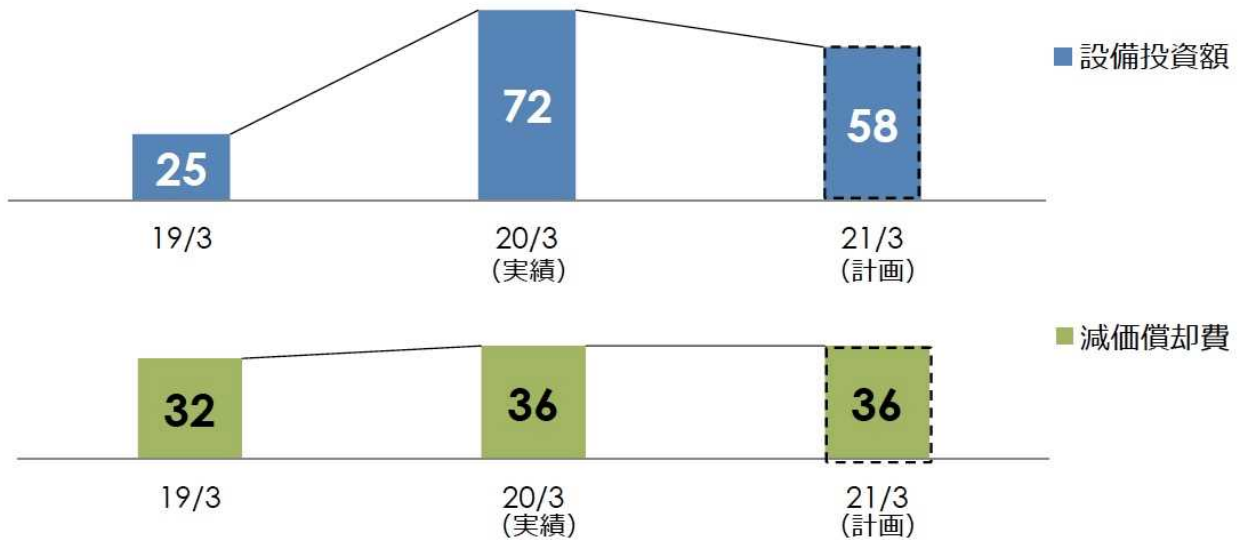
2021年3月期は、その駆け込み需要の剥落などにより、前期比マイナス25%の41億円を想定しています。

# 設備投資額、減価償却費

2020年3月期  
通期

- 2020年3月期は日東工業単体の新工場用地取得等により、設備投資額が増加
- 2021年3月期は、設備投資額58億円、減価償却費36億円を計画

(単位：億円)



※1千万円単位を四捨五入しています

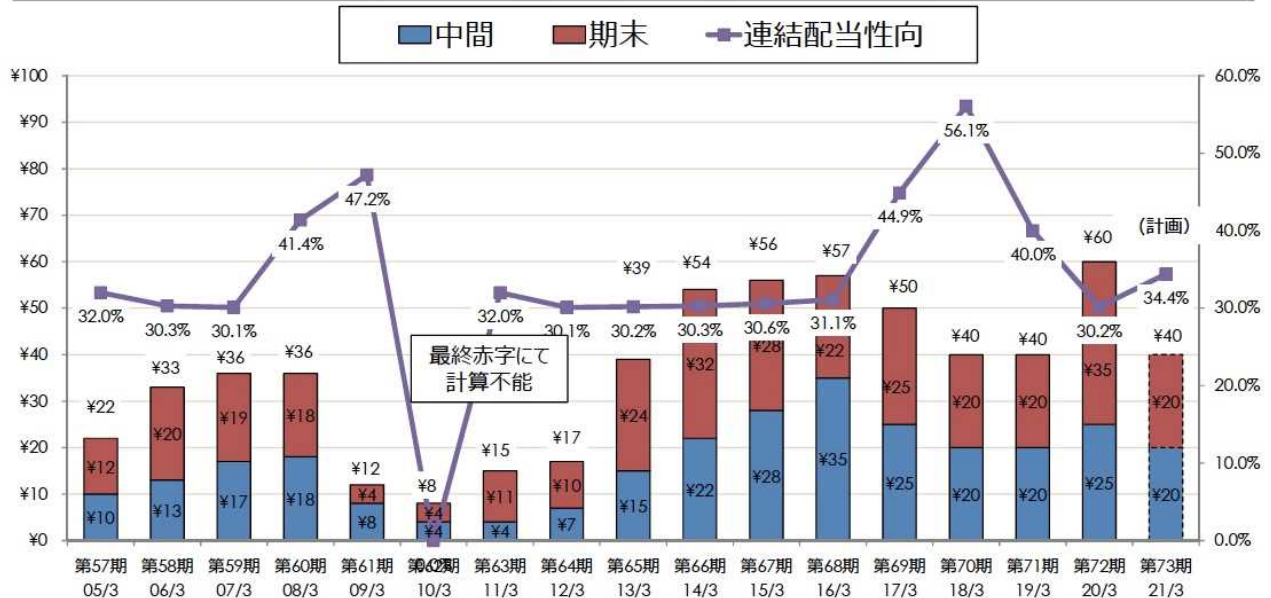
連結の設備投資額と減価償却費です。2020年3月期の実績は、設備投資額が72億円、減価償却費が36億円となりました。日東工業単体の新工場用地取得関連費用や機械の更新などが主な投資内容です。

2021年3月期は、設備投資額58億円、減価償却費36億円を計画しています。主な投資としては、グループ各社における基幹システムの再構築費用や、北川工業などの工場、倉庫の建設費用、および修繕費を考えております。

# 配当の状況

2020年3月期  
通期

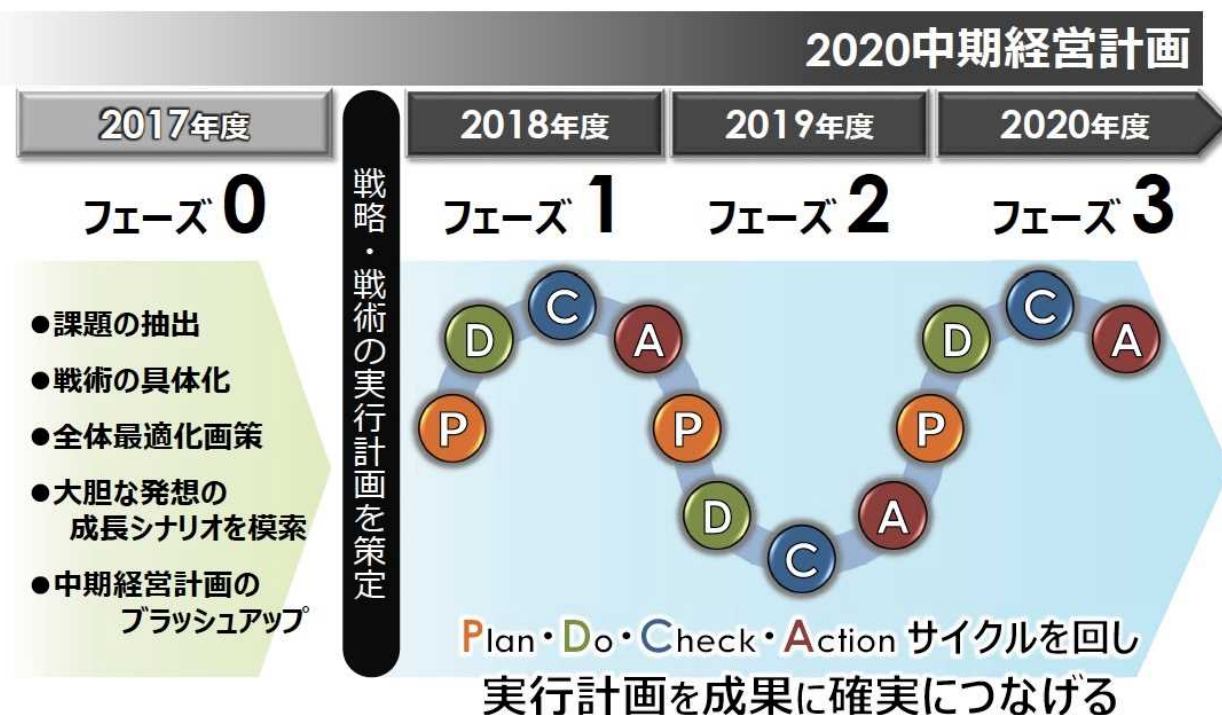
- 2020年3月期は、期末配当金35円、通期配当金60円、配当性向30.2%、DOE2.8%となる
- 2021年3月期は、通期配当金40円、連結配当性向34.4%を計画



配当の状況です。日東工業は、株主の皆様への安定的な配当を維持するため、連結配当性向 30%をベースに連結純資産配当率などを勘案する配当方針としています。

2020年6月開催の株主総会で、2020年3月期の期末配当は35円、通期配当金は60円となる予定で、4期ぶりの増配となります。60円ですと、連結配当性向が30.2%、DOEは2.8%となります。

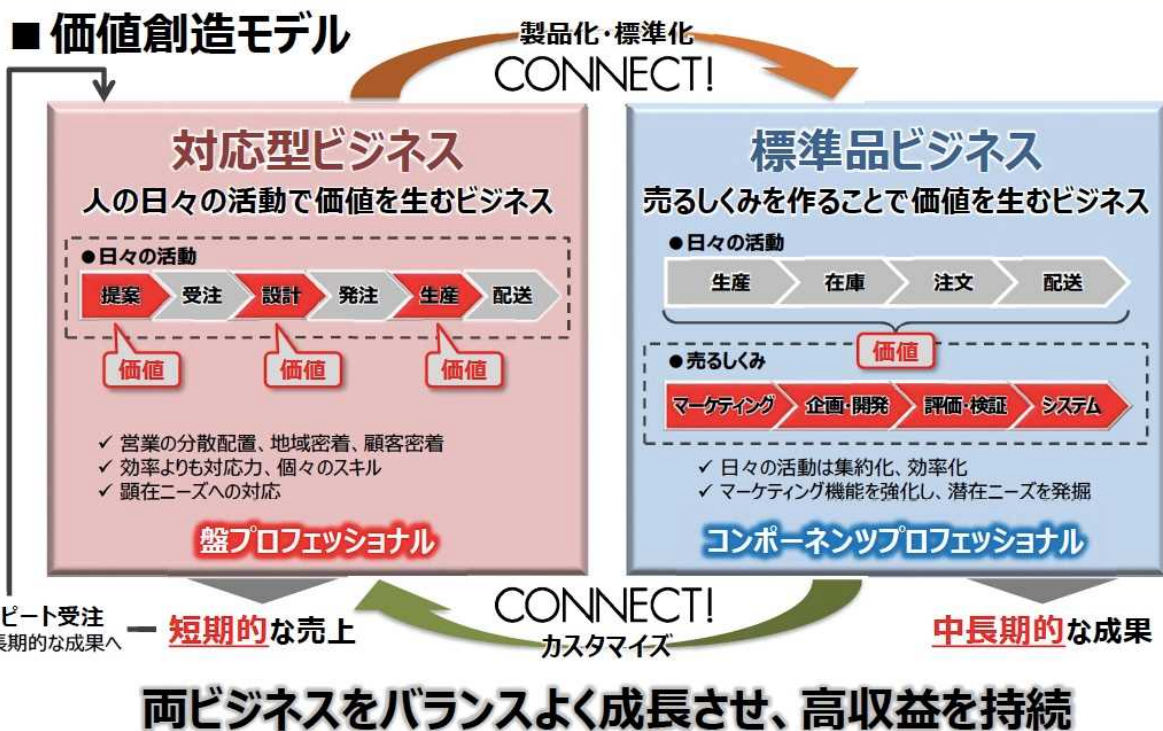
2021年3月期の配当金は、業績は下がりますが上期20円、下期20円、通期40円を計画しています。



ここからは中期経営計画についてお話しします。

2020年中期経営計画は4カ年計画で行われておりまして、2021年3月期は最終年度、フェーズ3となります。





日東工業グループの価値創造モデルは、対応型ビジネスと標準品ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続するというものでございます。

少し詳しくお話ししますと、一品一品、お客様の要望に基づき設計、生産を行う対応型ビジネスは、大変手間がかかります。ただし、受注することでお客様の要求における仕様の変化や傾向、そしてリピート性を知ることができます。

その要求の中から標準化することで、利便性や収益性を向上させられる製品を標準品として開発いたします。その標準品は大量生産することでコストを抑えることもできます。また、標準品は、カタログなどの販売システムや強固な販売ネットワークによって拡販することができます。さらに、対応型ビジネスに標準品を組み込むことで、対応型製品のコストを抑えることもできます。このループを回し続けることが当社の強みであり、成長の源泉となっています。

	戦略テーマ	ビジョン
事業戦略	<b>1. コア事業競争力の追求（技術力、製品提案力強化）</b>	
	<b>I 対応型ビジネス</b> 【盤プロフェッショナル】	盤関連事業の対応力をきわめ、 頼られるベストパートナーを目指す
	<b>II 標準品ビジネス</b> 【コンポーネッツプロフェッショナル】	産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる
	<b>2. グローバル化（東南アジアにおける配電盤事業の確立）</b>	
	<b>III 海外事業</b>	海外で活躍する産業インフラ関連企業に 喜びを与える企業になる
	<b>3. 新規ビジネスの展開（新たな技術・企業との融合）</b>	
基盤強化	<b>IV 新規事業</b>	失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する
	<b>4. 生産体制・経営基盤の強化</b>	
	<b>V 生産体制強化</b>	お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し 改善・改革にチャレンジする
	<b>VI 経営管理基盤強化</b>	日東工業グループの事業戦略を支える 経営管理基盤を確立する

2020 年中期経営計画の戦略テーマです。事業戦略と基盤強化の大きく2つに分け、事業戦略に対しては4つの戦略テーマで、基盤強化に対しては2つのテーマで計画を立案しました。

まず、コア事業競争力の追求といたしましては、先ほどお話ししました対応型ビジネスと標準品ビジネスのループを回し続けることでございます。

グローバル化に関しましては、日本で高く評価されている日東工業グループの強みである配電盤事業や販売システムを東南アジアなどの海外に移植することで、海外インフラ関連企業に品質、納期、価格で喜んでいただくことを目指しています。

新規事業の創出にもチャレンジしています。当社グループを取り巻く環境は、新規事業が生まれにくい状況ではありますが、AI、IoT、5G など、新たな環境に対応したビジネスにも挑戦していきます。

基盤強化である生産体制や経営管理基盤強化は、メーカーとして、また商社としてやるべきことを当たり前のようにやる風土をつくり、グループ全体の効率を向上させ、利益に貢献したいと考えています。

# 2020中期経営計画 業績目標

2020年3月期  
通期

(単位：億円)

	2016年度 実績 (計画策定時)	2019年度 実績	2020年度 計画	2020年度 目標 (計画策定時)
<b>連結売上</b>	<b>1,066</b>	<b>1,394</b>	<b>1,290</b>	<b>1,250</b>
(内 単体売上)	674	796	700	750
対応型ビジネス	465.5	551.5	470.0	470.0
標準品ビジネス	207.0	243.2	227.0	240.0
新規事業	1.5	1.3	3.0	40.0
(内 情報通信関連流通事業)	(305)	(407)	(416)	(350)
(内 海外事業)	(40)	(94)	(100)	(70)
<b>連結営業利益</b>	<b>65</b>	<b>124</b>	<b>77</b>	<b>100</b>
(内 単体営業利益)	50	94	60	75

・2019年度に中期経営計画の当初目標を達成（※「新規事業」を除く）

・2020年度計画は、新型コロナウイルス感染症の影響が当第2四半期以降は緩やかに回復することを前提とし試算

2020 年中期経営計画の業績目標です。

最終年度の連結売上は 1,250 億円、連結営業利益は 100 億円、日東工業単体売上は 750 億円、単体営業利益は 75 億円を目標としていました。連結、単体ともに 2019 年度には新規事業を除き当初目標を達成いたしました。

2020 年度計画は、新型コロナウイルス感染症の影響で、連結売上は前年より減少を予想していますが、当初の中期経営計画の目標は達成する計画といたしました。その他、連結営業利益、日東工業単体の営業利益の達成は困難な状況にあり、未達成の計画となります。

# 事業戦略の進捗状況 (1/7)

2020年3月期  
通期



**NITO** 日東工業株式会社

32

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

事業戦略の進捗状況でございます。

2019年度、対応型ビジネスと標準品ビジネスをさらに強化するため、新工場用地を愛知県瀬戸市と栃木県野木町に購入いたしました。詳しくは、後ほど35ページをご覧ください。

パナソニックとの協業では、パナソニックの分電盤に使用するカンタッチブレーカの生産を日東工業グループで開始しました。

さらに、電気火災を未然に防ぐ放電検出ユニットを開発いたしました。日本の火災全体の発生件数は減る傾向ですが、電気火災はほぼ横ばいで毎年1,000件を超えており、火災全体の約30%を占めています。その電気火災の40%は、火花放電による火災といわれています。ご自宅の分電盤にわれわれが開発いたしました放電検出ユニットを取り付けることで、家中のトラッキング、ケーブル断線、ショートなどで発生する火花放電を検出し、火災を未然に防ぐことができます。老朽化した電線を使い続けている建物、たこ足配線などが多い建物、それら多くの場所に活躍できる優れた製品と考えています。2019年のJECA FAIRにおいて、経済産業大臣賞を受賞するなど、各方面より高い評価を受けています。詳しくは後ほど、36ページをご覧ください。

グローバル化では、ベトナムのSOECO社を子会社化し、情報通信関連流通事業のグローバル化を強化いたしました。また、タイでは工場建設を行うなど、生産拠点の拡充も進めています。

当社グループは電気や情報を明日につなげる価値創造企業として、着実に成長しています。

## <今期の重点戦略>

<h3>コア事業 / I 対応型ビジネス</h3>	<h3>コア事業 / II 標準品ビジネス</h3>
<p><b>グループ会社連携による案件対応力を強化</b> それぞれの強みを生かした対応領域拡大と受注強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニューアル事業戦略の進展</li> <li>・制御盤事業戦略の進展</li> </ul>	<p><b>技術力・製品提案力の強化</b> 盤関連市場でお客様のニーズに合わせた製品・サービスを提供することで競争力を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBツール（Q B 自動作図システム）リリース</li> <li>・風雨性能新規格の浸透と対応商品拡大</li> </ul>
<h3>III 海外事業</h3>	<h3>IV 新規事業</h3>
<p><b>東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大</b> 事業基盤を早期に確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NBT新工場での製販一貫体制を確立し、タイ市場での事業拡大及び収益力強化</li> <li>・インフラ産業市場への参入によるビジネス拡大</li> </ul>	<p><b>「コト価値」の創造による事業領域の拡大</b> 中長期での事業化を目指し「コト価値」創造の取組にチャレンジを続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感震、EV充電器などの実証実験の進展</li> <li>・スタートアップ企業への出資</li> </ul>

今期の重点戦略です。

まず、コア事業の対応型ビジネスです。新型コロナウイルス感染症の影響で、新規の需要は減少すると考えていますが、グループ会社である新愛知電機製作所の高い技術力と大洋電機製作所の制御技術力、および日東工業の生産力を融合させ、他ではまねのできない差別化できる案件を受注してまいります。

さらには、新規案件にとどまらず、リニューアル市場へ積極的に攻勢をかけ、受注確保につなげてまいります。

もう一つのコア事業である標準品ビジネスでは、キュービクルの自動作図システムが完成しました。短納期案件を確実に受注することや火災対策製品であるスパークト、ゲリラ豪雨にも耐える耐風雨キャビネットを市場に投入するほか、GIGA スクール案件で使われるキャビネットなどを情報通信分野に対して拡販してまいります。また、業界に先駆けた新製品の開発にも注力いたします。

海外事業は、タイの新工場が稼働することで、納期とコスト対応力が備わり、日本品質とあわせて現地のニーズに対応した製品を市場に送り込み、売上拡大、収益性向上を目指します。シンガポールにおいても、収益性の高い案件の受注とコスト低減により成長させていきます。また、インフラ関連商材の参入も視野に入れ、マーケティング活動を強化してまいります。

新規ビジネスではEV充電スタンドや感震ブレーカの実証実験により蓄積されたノウハウに基づき、改良された製品を市場に投入してまいります。また、スタートアップ企業との連携を深め、新規事業にもチャレンジしております。そして、次期中期経営計画に向けた調査も開始したいと思っております。

34ページ以降は、後ほどご覧いただきたいと思っております。

最後になりますが、株主および投資家の皆様へ、私からメッセージをお伝えします。

私ども日東工業グループは、お客様の未来に信頼と安心を届ける企業グループとして社会貢献をいたします。そのため、モノづくり、ヒトづくり、ファンづくりに邁進し、新たな価値を創造し続け、社会にとって必要不可欠な存在になれるよう、努力してまいります。

モノづくりでは、最先端技術を導入し、働き方改革や労働人口減少の対策に省力化技術を取り入れます。新工場を含め、生産拠点を再構築し、お客様の要望に合わせた価格、納期、品質の実現を目指してまいります。

また、企業は人なりというように、業務を行うのは人です。持続的な成長の鍵を握るのは、紛れもなく人です。その意味で、ヒトづくりは最重要課題と捉え、次世代の人材育成にも努めます。教育された人材により、顧客ニーズに合った製品を開発し、生産し、販売することで、お客様からありがとうの言葉をたくさんいただけるよう、ファンづくりをしてまいります。これからの日東工業グループにご期待ください。

本日の説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

以上